

医団連「保険証の存続を求める国会内集会」要綱

1. 日時 2023年11月16日(木) 11:30~13:00

2. 会場 衆院第2議員会館多目的室(141名収容可)

3. 開催主体

中央社保協、医療団体連絡会議(保団連、民医連、医療福祉生協連、新医協、医労連)

4. スケジュールについて

11:00 受付開始

11:30 開会 司会(医労連・森田進 書記長)

開会挨拶(10)(保団連・住江憲勇 会長)

基調報告(20)(中央社保協・林信悟 事務局長)

※議員が到着したら中断し挨拶もらう

国会議員による情勢報告

(11時45分~12時45分に来場いただくよう案内)

各団体より現場実態報告5分×6人程度(30)

障全協 新井たかね 会長

新婦人 藤井住枝 中央常任委員

マイナンバー制度反対連絡会 石川敏明 事務局長代理

東京土建 木村潮人 書記次長

医療福祉生協 大野進 東京保健生協

12:50 行動提起を兼ねた閉会挨拶(10)(民医連・久保田直 常任理事)

13:00 終了

※終了後、集会に参加できなかった、紹介議員応諾の議員に署名提出に回る

以上

2023年11月16日(木) 11時30分～13時

健康保険証の存続を求める国会内集会 基調報告

1) 「保険証なくすな」全国に広がる1点共闘

150日間にわたり開かれた第211回通常国会(2023年1月23日～6月21日)において、マイナンバー制度反対連絡会、全国保険医団体連合会、中央社会保障推進協議会の3団体を中心となって「保険証廃止法案(マイナンバー法等の一部改正法案)」の撤回を求めてたたかいを進めてきました。通常国会では国会内外での集会を積み重ね、5月18日の院内集会には昨年秋から積み上げた省庁要請署名、国会請願署名、オンライン署名あわせて67万6899筆の署名を届けるとともに、国会前での座り込みにTwitterデモを連動させ、保険証廃止を許さない声を全国に広げてきました。保団連の連日にわたる医療現場のトラブル事例が大きく報道されるなか、新聞各紙は一斉に「保険証廃止を見直せ」と社説を打ち、参議院では2度にわたり法案採決が延期される事態に発展しました。法案成立後もマイナ保険証をめぐるトラブルは後を絶たず、世論は「保険証廃止反対72.1%(共同通信)」と大きく変化しました。

その後、この運動は医団連と中央社保協共同のたたかいに引き継がれ、8月からは新しい国会請願署名「現行の健康保険証を残してください」がスタートしました。いま全国でこの請願署名が大きく取り組まれています。9月議会では「保険証の存続等を求める請願」採択が相次ぎ、10月末時点で少なくとも、21都道府県90市区町村で91本の「保険証の存続等を求める」国への意見書が採択されています。

いま、保険証存続を求める1点共闘は大きく広がっています。神奈川(8月31日 なくすな保険証! 神奈川県連絡会結成)を皮切りに、愛知(9月12日 マイナ保険証一本化反対実行委員会結成し大学習会、9月29日は野外集会とデモ行進)、埼玉(10月7日 マイナ保険証をめぐる連続企画 ※埼玉弁護士会・埼玉保険医協会)、京都(10月27日 保険証廃止反対京都連絡会結成)、近畿(11月5日 保険証残せ! 社会保障の拡充で、いのち・暮らしを守ろうオール近畿アクション2023総決起集会を大阪で開催)、千葉(11月19日 保険証を残そうオール千葉の会結成)、沖縄(11月17日 健康保険証廃止反対沖縄県連絡会結成)ほかにも山梨(7月30日 STOP 保険証廃止7.30 宣伝行動実行委員会)、石川(8月25日以降、社保協・民医連・医労連3者で共同宣伝)、新潟(8月25日 市民連合アクションとして野党共同で街頭宣伝)、秋田(9月26日 4団体で健康保険証廃止取りやめの要望書を県に提出)、長野(10月12日 7団体で保険証の存続を求める要請書を県に提出)、東京(世田谷社保協「従来の健康保険証を廃止しないよう国に意見書の提出を求める陳情」世田谷区内74団体で提出)、山形(国民大運動山形県実行委員会が6月以降、毎月の街頭宣伝、9月30日に学習会)などです。

2) 「保険証の存続」こそが国民の不安を払拭する確かな選択

政府のマイナンバー情報総点検本部は、医療保険を含む紐づけ情報の点検・チェックを11月末までに完了させる方針を示しました。9月7日に厚労省は、医療保険者向け中間サーバ

ーに登録済みのデータ（1億6000万件）を地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が保有する住民記録データとの突合を行う方針を示しましたが、そもそも中間サーバーとJ-LISの情報は「漢字氏名の不一致」をはじめ乖離が大きく、膨大な作業量と期間、関係者の労力が必要となります。また「不一致」を11月末まで明らかにした後に、医療保険者、事業所もしくは被保険者にその後の確認作業を丸投げすることになります。よって政府の総点検で起きているすべての問題を解決することはできません。

また厚労省の報告では、マイナ保険証による資格確認は5カ月連続で利用者が減少し、9月は4.5%まで落ち込みました。一方で医療機関に義務化されたオンライン資格確認システムの導入の広がりや、マイナ保険証のトラブル続きの実態を背景に、医療現場では現行保険証による資格確認が増加しています。10月にはトラブルが相次ぐマイナンバー制度について情報システム学会が「制度設計に根本的な問題がある」と指摘する提言をまとめました。そのなかで政府が目指すマイナンバーカードと健康保険証や運転免許証との一体化などについて「このまま推進すると国民にとって不利益が大きくなる」と警鐘を鳴らし「健康保険証との一体化は再検討すべき」と提言しています。

岸田総理は8月4日の記者会見で、マイナ保険証を保有しない人に申請なしで資格確認書を交付すると宣言しました。資格確認書の取り扱いについて「当分の間、申請によらず交付する」「マイナ保険証の利用登録解除を可能にする」「有効期限を最長1年から最長5年にする」と説明しています。しかし「申請不要」の措置はあくまで「現行の保険証からマイナ保険証への移行期」だけで、移行期が終了すれば従来の方針通り申請主義に戻ることが懸念されます。当日の会見で岸田首相は「不安払拭」を強調しましたが、「保険証の存続」こそが国民の不安を払拭する確かな選択です。

3) たたかいをさらに広げて「保険証を残す」政治決断を迫ろう

212回臨時国会は10月20日～12月13日までの55日間です。来年秋の保険証廃止をめぐる国政の争点となっています。本日の集会では、この署名第1弾を提出し署名の紹介議員を大きく広げましょう。11月25日には医団連と中央社保協が「#なくすな保険証」新宿デモを呼びかけています。全国で保険証の存続を求める声を大きく広げるとともに、1点共闘をさらに広げ、請願署名をさらに積み上げ、12月、3月、6月議会に向けて、保険証の存続を求める陳情・請願行動をさらに広げていきましょう。

岸田総理は健康保険証の廃止について「状況を見極めた上で、さらなる期間が必要と判断した場合は、廃止時期の見直しも含め、適切に対応する」として、廃止時期を延期するかどうかの判断を秋以降に延期、先送りする考えを示しました。

国民皆保険制度のもと、医療保険による医療給付を受ける権利（受療権）を保障するのが保険証です。「国民の受療権を守るため」「国民皆保険を守る」ためには「保険証を残す」しかありません。この声を多くの国民に広げて「保険証を残す」政治決断を迫りましょう。国政選挙になれば「保険証を残す」ことを最大争点に押し上げていきましょう。

以上

特報部

FAX 03 (3595) 6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

地方議会から「待った」噴出

来年秋に現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードへ一本化する政府の方針に対し、地方議会から「待った」の声が相次いでいる。昨年秋以降、全国の約90の地方議会から反対や慎重な対応を求める意見書が国に提出された。静岡市議会は10月、自民党会派が主導する形で、来年秋の廃止にこだわらず、国民の理解を得よう求める意見書を採択した。地方からの声に政府は耳を傾げるのか。

(山田祐一郎)

来年秋に現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードへ一本化する政府の方針に対し、地方議会から「待った」の声が相次いでいる。昨年秋以降、全国の約90の地方議会から反対や慎重な対応を求める意見書が国に提出された。静岡市議会は10月、自民党会派が主導する形で、来年秋の廃止にこだわらず、国民の理解を得よう求める意見書を採択した。地方からの声に政府は耳を傾げるのか。

来秋 現行保険証廃止 マイナンバー一本化

静岡市議会の9月定例会最終日の10月11日に「マイナンバーカードの安全と信頼の確保の取組を求める意見書」が全会一致で可決された。意見書は、マイナンバーへの保険情報や公金受取口座の誤登録が相次いだことについて「マイナンバーカードの信頼を揺るがす事態」と指摘。政府が進めるデータやシステムの総点検に対し「まずは政府が国民の間に生じたさまざまな不安を払拭する必要がある」と強調した上で、来年秋の保険証廃止を「時期にこだわることなく、国民の理解を十分に得るよう強く要望する」と訴えた。

全国から意見書相次ぐ◆自民会派主導も

保険証体験



マイナ保険証の利用体験会を視察する河野太郎デジタル相(右手前) 10月29日午後、神奈川県(宮町で)

同様の意見書は、河野太郎デジタル相が健康保険証を廃止してマイナンバーカードへの一本化を表明した昨年10月以降、全国で相次いでいる。「ここ

ら特報部」が衆参両事務局に、地方議会から提出され、タイトルに「マイナンバーカード」「保険証」を含む意見書の件数を問い合わせたところ、衆院では89件、参院では92件確認された。多くは現行の健康保険証の存続を求めるもので、マイナンバーの普及状況を地方交付税に反映させることへの反対もあった。個人情報のひも付けを巡るトラブルが相次いだマイナンバー。政府は今年6月に河野氏をトップとする「マイナンバー情報総点検本部」を設置した。11月末までに総点検を終え、その結果を12月上旬に取りまとめる方針だ。

首相・国会議員の「丁寧さ」聞く力 欠け反発

その背景にあるのは「国会議員と地方議員のコミュニケーション不足」だという。その上でこう強調する。「かつては意見書が出される前に、政権与党の議員に地方議員の声が圧力となり抑止力として機能していた。意見書を提出しなければ政府に伝わらないと地方議員が考える時点で、岸田首相をはじめとする国会議員の『聞く力』が低下しているのだろう」

「ニュースの追跡」

健康保険証の存続等を求める自治体意見書採択状況

中央社会保険推進協議会

| | 都道府県 | 議会 | 意見書名など | 採択日 | 意見書 |
|------|--|---------------------------------|--|--------------------|-----------------------|
| 1 | 北海道 | 安平町 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月21日 | 1 |
| | | ニセコ町 | 健康保険証廃止の見直しを求める意見書 | 2023年3月7日 | 1 |
| | | 美幌市 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| | | 北広島市 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月2日 | 1 |
| | | 江差町 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月15日 | 1 |
| | | 森町 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月19日 | 1 |
| | | 浦河町 | 現行の健康保険証の廃止の延期を求める意見書 | 2023年9月19日 | 1 |
| | | 漂茶町 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月19日 | 1 |
| | | 南幌町 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月20日 | 1 |
| | | 津別町 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| | | 網走市 | 現行の健康保険証の当面存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| | | 札幌市〇 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年10月31日 | 1 |
| | | 新得町 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月1日 | 1 |
| 2 | | 岩手県 | 岩手県◎ | 健康保険証廃止の中止等を求める意見書 | 2023年7月7日 |
| | 紫波町 | | 健康保険証廃止の中止等を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| 3 | 山形県 | 庄内町 | 健康保険証を廃止しないよう求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| 4 | 福島県 | 喜多方市 | 健康保険証廃止の中止・撤回とマイナンバーカードの取得強制に反対する意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| | | 喜多方市 | 健康保険証廃止の撤回とマイナンバーカードの取得強制を求める意見書提出の請願（みなし採択） | 2023年9月22日 | 0 |
| | | 会津坂下町 | 国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| 5 | 東京都 | 調布市 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| | | 小金井市 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| 6 | 埼玉県 | 北本市 | 改正マイナンバー法を見直し健康保険証の継続を求める意見書 | 2023年6月28日 | 1 |
| | | 鳩山町 | 改正マイナンバー法を見直し健康保険証の継続を求める意見書 | 2023年6月14日 | 1 |
| | | 三芳町 | 健康保険証の廃止を中止することを求める意見書 | 2023年6月20日 | 1 |
| | | 八潮市 | 健康保険証の一律廃止の撤回を求める意見書 | 2023年9月21日 | 1 |
| | | 越生町 | 国民健康保険証の継続を求める意見書 | 2023年9月11日 | 1 |
| | | 7 | 神奈川県 | 座間市 | 従来型（紙）健康保険証の存続を求める意見書 |
| 座間市 | 現行（紙）の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月29日 | | 1 | |
| 愛川町 | 現行の（紙の）健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月15日 | | 1 | |
| 愛川町 | 従来型（紙）健康保険証の存続を求める陳情（みなし採択） | 2023年9月15日 | | 0 | |
| 清川村 | 従来型（紙）健康保険証の存続を求める陳情（趣旨了承） | 2023年9月20日 | | 0 | |
| 清川村 | 現行の（紙の）健康保険証の存続を求める陳情（趣旨了承） | 2023年9月20日 | | 0 | |
| 海老名市 | マイナ保険証への理解促進と従来型健康保険証原則廃止への不安払拭を求める意見書 | 2023年9月29日 | | 1 | |
| 鎌倉市 | 紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求める意見書 | 2023年10月3日 | | 1 | |
| 南足柄市 | 従来型の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年10月3日 | | 1 | |
| | 葉山町 | 現行（紙）の健康保険証の存続を求める意見書 | | 2023年10月12日 | 1 |
| 8 | 山梨県 | 上野原市 | 改正マイナンバー法を見直し健康保険証の継続を働きかける意見書 | 2023年9月5日 | 1 |
| 都留市 | | 改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書 | 2023年9月29日 | 1 | |
| 9 | 新潟県 | 胎内市 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年10月3日 | 1 |
| 10 | 長野県 | 松本市 | 「健康保険証」の継続を求める意見書 | 2023年6月29日 | 1 |
| | | 駒ヶ根市 | 安全で安心な国民皆保険を支える健康保険証システムの運用を求める意見書 | 2023年9月26日 | 1 |
| | | 軽井沢町 | 「健康保険証」存続を求める意見書 | 2023年9月21日 | 1 |
| | | 立科町 | マイナンバー制度による健康保険証廃止方針の撤回を求める意見書 | 2023年6月26日 | 1 |
| | | 安曇野市 | 健康保険証の継続を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| | | 安曇野市 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| | | 長和町 | 改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書 | 2023年9月21日 | 1 |
| | | 南箕輪村 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月15日 | 1 |
| | | 宮田村 | 健康保険証の継続を求める意見書 | 2023年9月20日 | 1 |
| | | 阿南町 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| | | 泰阜村 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| | | 下條村 | 「健康保険証」の継続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| | | 飯島町 | 健康保険証利用に国民目録の改善を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| | | 青木村 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月19日 | 1 |
| | | 柴村 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月14日 | 1 |
| | | 富士見町 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| | | 北相木村 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| | | 麻績村 | 健康保険証の存続に関する意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| | | 山形村 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| | | 松川村 | 現行の健康保険証存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| 白馬村 | 現行の健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 | | |
| | 南相木村 | マイナンバー制度による健康保険証廃止方針の撤回を求める意見書 | 2023年9月27日 | 1 | |

| | | | | | | |
|----|-----|-------|----|--|-------------|----|
| | | 朝日村 | 1 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| | | 小布施町 | 1 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月議会 | 1 |
| | | 原村 | 1 | 現行の「健康保険証」廃止の延期を求める意見書 | 2023年9月議会 | 1 |
| | | 南木曾町 | 1 | 趣旨採択 | 2023年9月議会 | 0 |
| | | 大滝村 | 1 | 採択（詳細確認中） | 2023年9月議会 | 1 |
| | | 大桑村 | 1 | 採択（詳細確認中） | 2023年9月議会 | 1 |
| | | 飯山市 | 1 | 趣旨採択 | 2023年9月議会 | 0 |
| 11 | 静岡県 | 静岡市○ | 1 | マイナンバーカードの安全と信頼の確保の取組を求める意見書（保険証廃止についても言及） | 2023年10月11日 | 1 |
| 12 | 滋賀県 | 愛荘町 | 1 | マイナンバーカードシステムのセキュリティ強化とマイナ保険証の見直しを求める意見書 | 2023年6月22日 | 1 |
| 13 | 京都府 | 長岡京市 | 1 | 「健康保険証の原則廃止」撤回を求める意見書 | 2023年6月26日 | 1 |
| | | 向日市 | 1 | 健康保険証の原則廃止の撤回を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| | | 精華町 | 1 | マイナンバーカードの健康保険証利用による健康保険証の廃止に慎重な対応を求める意見書 | 2023年4月3日 | 1 |
| | | 精華町 | | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月26日 | 1 |
| 14 | 奈良県 | 河合町 | 1 | 健康保険証廃止の見直しを求める意見書 | 2023年6月21日 | 1 |
| | | 大和高田市 | 1 | 健康保険証の廃止の延期を求める意見書 | 2023年9月27日 | 1 |
| 15 | 広島県 | 尾道市 | 1 | 健康保険証の継続を求める意見書 | 2023年9月20日 | 1 |
| | | 庄原市 | 1 | 「健康保険証」の存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| 16 | 高知県 | いの町 | 1 | 健康保険証の廃止撤回を求める意見書 | 2023年9月15日 | 1 |
| | | 芸西村 | 1 | 現行健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| | | 安芸市 | 1 | 健康保険証廃止は慎重に進めることを求める意見書 | 2023年6月5日 | 1 |
| 17 | 香川県 | 三木町 | 1 | 健康保険証廃止の再考を求める意見書 | 2023年9月14日 | 1 |
| 18 | 福岡県 | 中間市 | 1 | マイナンバーカードと被保険者証の一本化に反対する意見書 | 2022年12月13日 | 1 |
| | | 中間市 | | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| | | 柳川市 | 1 | 現行「健康保険証」廃止の見直しを求める意見書 | 2023年9月19日 | 1 |
| | | 直方市 | 1 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| | | 行橋市 | 1 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| | | みやこ町 | 1 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| | | 糸田町 | 1 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月25日 | 1 |
| | | 鞍手町 | 1 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月26日 | 1 |
| | | 田川市 | 1 | 健康保険証を廃止しないよう求める意見書 | 2023年10月5日 | 1 |
| | | 小竹町 | 1 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月22日 | 1 |
| 19 | 佐賀県 | 鳥栖市 | 1 | 健康保険証廃止の見直しを求める意見書 | 2023年9月21日 | 1 |
| | | 神埼市 | 1 | 健康保険証廃止の継続を求める意見書 | 2023年10月5日 | 1 |
| 20 | 宮崎県 | 国富町 | 1 | 健康保険証を廃止しないよう求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| 21 | 沖縄県 | 中城村 | 1 | 健康保険証廃止の中止等を求める意見書 | 2023年9月27日 | 1 |
| | | 北谷町 | 1 | 健康保険証の存続を求める意見書 | 2023年9月28日 | 1 |
| | | 自治体数 | 90 | ◎は県議会、○は政令指定都市 | | |
| | | | | | 11/8現在 | 91 |

マイナ保険証
介護関係者マイナカードに
協力あー成さうございまして。



健康保険証の廃止反対を訴える
健康保険医協会の仲里道隆理事長(左
から2人目)ら11月20日、県庁記
考室で

県民主医療機関連合会
(沖縄県医連)など県内の
団体は20日、マイナバー
カードに健康保険証の機能
を持たせた「マイナ保険証」
について、県内介護事業所
を対象にしたアンケート結
果を発表した。回答した職
員や利用者ら764人のうち
88.7%が「今の保険
証を残してほしい」として
いることから、11月に廃止
反対連絡会の結成総会を開

く。
政府は来年秋に現行の健
康保険証を廃止して、マイ
ナカードに一本化する方針
だ。沖縄県医連は高齢者の
保険証を預かる介護現場で
情報漏えいなどの負担感が
増す懸念があるとして、9
月10日に県内1200事業
所を対象に緊急アンケート
を実施。介護職員ら507人、
家族を含む介護利用者16
7人から回答を得た。利用
者に限ると、廃止反対は95
.0%だった。

県庁記考では「マイナカ
ードを持たせるとは、健康
選好が厳しくなる」(80代
利用者)、「保険証を施設で
預かっているが、マイナ保
険証になれば管理の問題が
出てきて困る」(50代職員)。

健康保険証の廃止反対を訴える
健康保険医協会の仲里道隆理事長(左
から2人目)ら11月20日、県庁記
考室で

「今の保険証は不便はなら
(70代利用者) などであつ
た。マイナ保険証利用率は
6.4%だった。
高橋大田事務局次長は
「保険証の廃止は弱い立場
の人を考慮しておらず、国
民健康保険制度の根幹を破壊
するものだ」と批判した。

沖縄県医連のほか、県保
険医協会、沖縄医療生活協
同組合、県医療福祉労働組
合連合会、県社会保険推進
協議会、社会福祉法人沖縄
にしの会の6団体は11月1
日、那覇市の沖縄産業支援
センターで廃止反対連絡会
の結成総会を開く。

県庁記者クラブで会見し
た県保険医協会の仲里道
隆理事長は同会調査でも90%
が廃止に反対しているとし
「われわれの要求は『保
険証を今まで通り使わせて
ほしい』のただ一つだ」と
強調した。

(社会部・下里楓)

健康保険証「残して」88%

沖縄県医連調べ 来月連絡会を結成

〒900-0024 那覇市古波瀬4-10-53
健康企画ビル3階
沖縄県社会保険推進協議会

◎ 保険証を守れ! の声は 88% に達している。
さきつぎ、署名運動へは協力をお願いします。

マイナ受診 9月4.5%

厚労省 5カ月連続で利用率減少

2023.10.29 赤坂

健康保険証と一体化したマイナンバーカードをめぐり、患者が医療機関や薬局にかかる際のオンライン資格確認の「利用率」が5カ月連続で減少したことが、厚生労働省の調査で分かりました。27日の社会保障審議会の部会で報告されました。

マイナカードによる

健康保険証と一体化したマイナンバーカードをめぐり、患者が医療機関や薬局にかかる際のオンライン資格確認の「利用率」が5カ月連続で減少したことが、厚生労働省の調査で分かりました。27日の社会保障審議会の部会で報告されました。

マイナカードによる

健康保険証と一体化したマイナンバーカードをめぐり、患者が医療機関や薬局にかかる際のオンライン資格確認の「利用率」が5カ月連続で減少したことが、厚生労働省の調査で分かりました。27日の社会保障審議会の部会で報告されました。

マイナカードによる

割合は4月の6・3%から5カ月連続で減少し、9月は4・5%にまで落ち込みました。岸田文雄首相は、マイナカードの普及ありきで来年秋の現行保険証の廃止を狙う一方、「国民の不安払拭のため…さらなる期間が必要と判断された場合は、必要な対応を行う」（27日の参院本会議）とも述べています。現行保険証の廃止はやめ、存続することこそが求められています。

「マイナの制度設計に根本的な問題がある」

情報システム学会 一体化には警鐘
2023.10.26 東京

トリアルが相次ぐマイナ
ンバート制度について、情報
システムの専門家をつくる
学会が今月、「制度設計に
根本的な問題がある」と指
摘する提言をまとめた。政
府が目指すマイナシフトカ
ードと健康保険証や運転免
許証との一体化などについ
て、「このまま推進すると
国民にとって不利益が大き
くなる」と警鐘を鳴らし、
見直しを求めた。

提言したのは、情報シス
テムの研究や実践に取り組
む大学や企業、行政などの
専門家約300人をつくる
「情報システム学会」。

提言では、「国民の利便
性向上や行政の効率化、公

平・公正な社会の実現とい
う目的には賛同する」とし
た上で、「現状はそれを達
成する最適な制度設計にな
っていない」と明記した。

例えば、心身が不自由な
高齢者施設の利用者が、マ
イナカードと暗証番号を施
設に預けざるをえない場
合、「カードの高度なセキュリティ機能は無意味に
なり、暗証番号も意味をな
さない。カードと暗証番号
で銀行口座の開設などさま
ざまなことができる設計の
ため、なりすまし犯罪の温
床になる可能性がある」と
指摘した。

また、マイナカードに健
康保険証や運転免許証を一
体化するために機能が増え
ているため、「システム設
計が多岐にわたり、多くの
矛盾や齟齬が発生してい
る」とした。具体的には、
現行の運転免許証なら紛失
しても即日発行されるが、
免許証と一体化したマイ
ナカードをなくすと、再交
付までに日数がかかるとい
った運用面の課題を挙げ
た。

同学会の砂田兼会長は
「政府はゴールに向けた全
体計画と現時点の成果や費
用対効果を国民に分かりや
すく説明する必要がある」
と話した。(嶋村光希子)

【提言のポイント】

マイナカードに身分証明や健
康保険証など多くの機能を
詰め込み過ぎしており、それら
を分離した制度に再設計す
べきだ

解決策として、全国民に身分
証明書カードを新たに発行
し、システムへのログインは
カードにこだわらずスマホ認
証なども可能に

健康保険証との一体化は再
検討すべきだ。運転免許証は
一体化すべきでない

(提言本文は学会ホームページで公開)



#なくすな保険証 11.25 新宿デモ

日時:2023年11月25日(土)15時30分~17時

15時30分 新宿東口アルタ前集合 街頭宣伝

16時00分 デモ行進スタート (アルタ前→大ガード→西口→南口→甲州街道→明治通り→靖国通り→流れ解散 17時終了予定)

※16時より、X(旧Twitter)デモ #なくすな保険証 を呼びかけます

2023年6月、現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードに一体化する法案が可決成立しました。しかし、誤登録や誤った個人データの紐付け、「資格無効」と表示される等、マイナンバーカードでの受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされます。

ご一緒に「なくすな保険証」、「いのちまもれ」の声を大きく広げていきましょう。

主催：医療団体連絡会議（全国保険医団体連合会・全日本民主医療機関連合会・日本医療福祉生活協同組合連合会・新医協・日本医療労働組合連合会）中央社会保障推進協議会